

パブリック DNS ベースのブロック リスト (DNSBL) を照会するように Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) を設定するには、どうすればよいですか。

目次

ブラックリストか DNS ベース ブロック リスト (DNSBL) は既知スパムの発信者によって使用される IP アドレスのリストです。メールのための AsyncOS によって仕様 DNS リスト サーバにクエリを一致させることと送信側グループを定義する、リスナーの帽子で機能があります。クエリはリモートクライアントの接続の時に DNS によって実行された。

メッセージ フィルター ルールとして現在存在 するリモート リストをまた問い合わせる機能

([AsyncOS 上級構成ガイド](#)の「DNS リスト ルール」を参照して下さい)、メッセージの内容が全額受け取られたらだけ。)

このメカニズムはメール フロー ポリシーをそれに応じて調節できるように DNS リストを問い合わせるグループ内の送信側を設定することを可能にします。たとえば、接続を拒否しか、またはドメインの接続の動作を制限する可能性があります。

「dnslist」メカニズムは (各送信側で) Settings ページをグループ化します) DNS リストを問い合わせる送信側グループ内の送信側を追加することを可能にします。

注 : CLI のクエリに角カッコを含めることを忘れないでいて下さい。角カッコは GUI の DNS リスト クエリを規定 するとき必要ではないです。クエリをテストするか、全般設定を DNL クエリのために行うか、または現在の DNS リスト キャッシュをフラッシュする CLI で「dnslistconfig」コマンドを使用して下さい。